



2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月5日

上場会社名 丸八倉庫株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9313 URL https://www.maru8.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 峯島 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮沢 浩元 (TEL) 03(5620)0809
 四半期報告書提出予定日 2024年4月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	1,225	0.1	153	48.5	158	52.6	103	53.0
2023年11月期第1四半期	1,225	3.8	103	△36.4	103	△35.9	67	△37.2

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 241百万円(151.5%) 2023年11月期第1四半期 95百万円(△20.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年11月期第1四半期	円 銭 17.55	円 銭 —
2023年11月期第1四半期	11.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年11月期第1四半期	百万円 18,125	百万円 11,242	% 61.9
2023年11月期	18,290	11,096	60.5

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 11,214百万円 2023年11月期 11,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年11月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 16.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	0.2	290	3.1	280	2.4	190	△0.5	32.09
通期	5,100	2.6	600	4.4	585	△0.0	400	△3.0	67.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年11月期1Q	7,300,000株	2023年11月期	7,300,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年11月期1Q	1,378,807株	2023年11月期	1,378,807株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年11月期1Q	5,921,193株	2023年11月期1Q	5,921,194株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想に修正が生じた場合は、速やかに開示いたします。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復傾向にて推移しました。しかしながら、世界的な金融引き締めに伴う影響による景気下振れリスクが高まりつつあるほか、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響から内外経済の動向は不透明感が拭えない状況にあります。

このような経済情勢にあって、物流業界におきましては保管残高数量・金額ともに概ね前年同月並みの水準にて推移する傾向がみられつつあるものの、人手不足等に加えて燃料価格をはじめとする物価高騰等により全般的にコストが上昇しているほか競争の激化等もあり、厳しい状況が続いております。また、不動産賃貸業界におきましても、景気動向等の影響に伴い、賃料水準や需給関係の各データは総じて弱含みにて推移しております。

このような状況の下、当社グループは、内外の環境変化に的確に対応しながら、さらなる成長を果たしていくために新中期経営計画（2022－2026）の具体的各施策を展開してまいりました。物流事業における具体的施策としては、既存倉庫の稼働率は安定的かつ高い水準にて推移しており、各種経費の削減にも取り組み、営業収益の確保に努めてまいりました。また、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。このほか、埼玉県所沢市の新規倉庫ならびに千葉県八街市の新規文書保管センターも本格的に稼働開始となり、将来の収益力増強に向けて事業基盤の増強も図られつつあります。不動産事業における具体的施策としては、賃貸マンションや賃貸オフィスビル等が安定的に稼働しており、不動産賃貸料収益の増加に努めてまいりました。

この結果、売上高は物流事業収入が前年同期比で増加を確保したことにより概ね前期比並みの1,225百万円となりました。また、営業利益は各種経費の削減に努めた結果、前期比49百万円（48.5%）増の153百万円となり、経常利益は前期比54百万円（52.6%）増の158百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比35百万円（53.0%）増の103百万円となりました。なお、新中期経営計画の主要指標であるEBITDA（償却前利益）は前期比50百万円（20.4%）増の295百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

物流事業

物流事業では、保管料収入が前年同期比で増加したことにより売上高は前期比2百万円増の1,068百万円となり、セグメント利益は経費削減効果等により前期比17百万円増の178百万円となりました。

不動産事業

不動産事業では、賃貸マンション・賃貸オフィスビルが安定的に稼働したことにより売上高はほぼ前期比並みの157百万円となり、セグメント利益は経費削減効果等により前期比22百万円増の75百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金等の減少により、前期末比165百万円減少の18,125百万円となりました。負債は、長期借入金の返済等により前期末比311百万円減少の6,882百万円となり、純資産は前期末比146百万円増加の11,242百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は61.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2024年1月12日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。ただし、今後、内外経済の動向等により、国内貨物の荷動きに影響が及ぶ可能性も想定されます。今後、業績予想を修正する必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,063,646	792,174
受取手形及び営業未収入金	314,190	313,023
その他	91,104	107,486
流動資産合計	1,468,941	1,212,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,947,572	7,837,332
機械装置及び運搬具(純額)	378,239	367,266
土地	5,969,348	5,969,348
その他(純額)	124,627	120,582
有形固定資産合計	14,419,788	14,294,530
無形固定資産		
借地権	72,372	72,372
その他	28,627	26,572
無形固定資産合計	100,999	98,945
投資その他の資産		
投資有価証券	1,557,502	1,754,903
差入保証金	440,651	441,851
会員権	9,978	9,978
退職給付に係る資産	127,506	138,847
繰延税金資産	18,019	17,971
その他	147,338	155,321
投資その他の資産合計	2,300,997	2,518,874
固定資産合計	16,821,785	16,912,350
資産合計	18,290,726	18,125,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	122,159	128,043
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	772,940	762,940
未払金	5,523	12,038
未払費用	106,718	26,240
未払法人税等	143,483	61,285
未払消費税等	150,684	48,832
前受金	190,747	218,691
賞与引当金	-	24,658
その他	9,414	20,962
流動負債合計	1,601,671	1,403,692
固定負債		
長期借入金	4,266,834	4,088,599
繰延税金負債	581,203	641,647
役員退職慰労引当金	123,460	123,252
長期預り保証金	599,276	603,274
その他	22,187	22,187
固定負債合計	5,592,962	5,478,960
負債合計	7,194,633	6,882,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,600	2,527,600
資本剰余金	2,046,936	2,046,936
利益剰余金	7,275,609	7,284,777
自己株式	△1,189,964	△1,189,964
株主資本合計	10,660,181	10,669,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,667	545,624
その他の包括利益累計額合計	408,667	545,624
非支配株主持分	27,244	27,407
純資産合計	11,096,093	11,242,381
負債純資産合計	18,290,726	18,125,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	1,225,172	1,225,927
売上原価	964,318	930,780
売上総利益	260,854	295,146
販売費及び一般管理費	157,763	142,088
営業利益	103,091	153,058
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	5,910	11,549
補助金収入	2,750	941
その他	672	658
営業外収益合計	9,333	13,148
営業外費用		
支払利息	8,763	7,983
営業外費用合計	8,763	7,983
経常利益	103,661	158,223
特別利益		
有形固定資産売却益	-	204
特別利益合計	-	204
特別損失		
有形固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	103,661	158,428
法人税等	35,293	54,358
四半期純利益	68,368	104,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	448	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,920	103,907

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	68,368	104,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,484	136,956
その他の包括利益合計	27,484	136,956
四半期包括利益	95,852	241,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,404	240,864
非支配株主に係る四半期包括利益	448	162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	650,705	8,406	659,111	—	659,111
その他の収益	415,825	150,235	566,060	—	566,060
外部顧客への売上高	1,066,530	158,642	1,225,172	—	1,225,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,066,530	158,642	1,225,172	—	1,225,172
セグメント利益	160,485	53,392	213,878	△110,787	103,091

(注) 1 セグメント利益の調整額△110,787千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	657,797	8,160	665,957	—	665,957
その他の収益	410,814	149,154	559,969	—	559,969
外部顧客への売上高	1,068,612	157,314	1,225,927	—	1,225,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,068,612	157,314	1,225,927	—	1,225,927
セグメント利益	178,285	75,416	253,701	△100,643	153,058

(注) 1 セグメント利益の調整額△100,643千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。